



議会の様子をネット等で公開して下さい。町民の理解が進むと思う。(無記名)

夜間議会を傍聴したくて今回参りました。時間の都合で午後の傍聴となりました。

近隣の自治体ですので今回の傍聴とても勉強になりました。三芳町議会とても開かれています。今回傍聴させてあると感じます。今回傍聴させて頂き誠にありがとうございます。要望・議席表はあるのですが、答弁者である執行部の座席表もあると良いなと思います。(ふじみ野市 Kさん)

私自身高齢者なので、認知症については人ごとではありません。いなくなつた方を探す放送がたびたびあります。安心してくらせる町づくりが早期に望まれます。

認知症カフェやグループホームの建設などの計画もあるとのこと期待しています。本日は傍聴にきてよかったです。(藤久保 Sさん)

平和事業の取組みの答弁中、日の丸の半旗掲揚というのがあったが、それが平和事業になるのか、はなはだ疑問に感じました。日の丸は平和の象徴ではありません。

隣の富士見市では、毎年、公民館と市民が一体となって、ピースフェスティバルが行われています。三芳町の公民館でも、そのような取組みをしていただきたいものです。(北永井 Sさん)

詳細な内容であり、良く聞いて考えながら読む。今後も自身努力です。(藤久保 Kさん)

議会開会中である案内がエントランスにありますか？見落とししていたかも知れませんが、エレベーターに乗りながら日程を間違えたか不安になりました。(志木市 Oさん)

他人事の様な回答が多く前進的な話がない。(Mさん)

他にもたくさんのご意見をいただきましたが、一部を紹介しました。

9月定例会の傍聴者数

		日程	人数
本会議		8月26日	1
		8月29日	5
		8月30日	23 (うち夜間議会 15名)
		9月1日	29
		9月8日	0
		9月15日	1
		合計	59
委員会		8月26日 (広報)	0
		8月29日 (議運)	0
		9月2日 (全協)	0
		9月2日 (総務)	0
		9月5日 (厚生)	0
		9月6日 (決算)	2
		9月8日 (決算)	0
		9月8日 (議運)	0
		9月9日 (決算)	0
		9月13日 (議運)	0
		9月15日 (議運)	0
		合計	2
合計			61



報告

議会広報広聴常任委員会

【所管事務調査実施】

当委員会では、議会広報・広聴に関する所管事務調査のため、6月30日及び7月1日にかけて議会運営委員会と合同で北海道の帯広市と芽室町を訪れました。

両市町共に議会改革を積極的に進め、インターネット議会中継や、帯広市では「市民意見交換会」、芽室町では「議会フォーラム」を開催し広く住民意見を取り入れています。

当町でもインターネット議会中継の実施や、多くの住民の方が参加し意見を述べる場として「議

会報告会／ふれあい座談会」を根本的に見直したいと思います。

また8月にホームページをリニューアルしましたが、更に色々な情報を公開していきたいと思います。



報告

議会運営委員会

【所管事務調査実施】

平成28年6月30日～7月1日北海道帯広市議会、芽室町議会へ議会改革について視察を行いました。

帯広市では、議会活動として情報を市民に積極的に公開し市民の意見・要望を広く聞き議会内での議論、政策形成に反映させています。また、芽室町では、議会改革が最も進んだ議会と評価されており、通年議会や政策形成サイクルを導入しています。サポーター制度及びモニター制度を設置し幅広く住民の意見を聴取しているところ。その為、執行部への政策提言も自信を持って行っている

のことでした。2か所の所管事務調査を経て、当議会運営委員会でも、政策提言に向けた、政策検討サイクルフローチャートの作成や、様々な協議を重ね来年度以降の実施を目標に議会改革に向けて準備しているところです。



報告

総務常任委員会

【所管事務調査実施】

平成 28 年 7 月 22 日 志木市デマンド交通・戸田市コミュニティバス視察

志木市ではデマンド交通を視察。既存のタクシー会社を活用し、自宅から乗車が可能であり、利用料金は一律ではなく距離によって変動する事や、一定料金を補助する補助方式を採用しているなど、三芳町のデマンド交通とは異なった取組みを調査しました。

戸田市では戸田市コミュニティ



バス toco を視察。料金は一律 100 円で、狭い住宅街などを含め市内全域にきめ細かく整備し、交通空白地を改善している状況を確認しました。その他、財政措置や逆回り運行等の課題について状況を確認しました。



報告

厚生文教常任委員会

【所管事務調査実施】

当委員会では、6 月 20 日に児童の放課後の過ごし方の現状をより詳しく知るために「藤久保学童保育室」と「こどもきっさ TOMOSO」の調査を実施しました。

藤久保学童保育室では、児童がおやつを食べ、宿題を済ませ、「のびのび」と過ごしている様子を見ることができました。

今後の課題は、児童の人数が増えた時の対応であり、その場合は施設を広げる必要があるようです。児童健全育成のために継続が求められる施設であり、事業であることを確信しました。



こどもきっさ TOMOSO は、毎月第 1・第 3 月曜日の夕方 4 時から 5 時半まで、「社協の家」で子どもたちに軽食を無料で提供しています。地域とのつながりの居場所づくりとして貢献している施設です。

今回の視察研修をきっかけとして、子供の貧困対策をどう行っていくのかも考えなければならない課題であり、今後も調査研究が必要です。

